

| 第2回草津市総合計画策定委員会幹事会概要 | | |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 日 時 | 平成20年8月28日(木) 午前9時30分～11時20分 | |
| 会 場 | 庁議室 | |
| 出席者 | 勇幹事長、筒井幹事、加藤幹事、唄中幹事、平井幹事、山本勝彦幹事、進藤幹事、田内幹事、林幹事、入江幹事、守岡幹事、浅見幹事、西村幹事、中村健治幹事、中村好明幹事、山本芳一幹事、苗村幹事 | |

1. 開 会

2. 議 事

(1) 第5次草津市総合計画策定に向けての市民意識調査について

事務局より説明

《主な意見》

- ・ 3,000というサンプル数の根拠は。
→統計学上、草津市の人口規模において有効な回答数を得られる数である。
- ・ 語句の説明を増やす方が良い。
- ・ 現行総合計画の認知度を調べないのか。
→総合計画の計画内容に対する評価について把握する調査であり、計画そのものの認知度を
知することは考えていないが、現在策定中の第5次総合計画では市民と協働で、市民に分かり
やすい総合計画を目指して策定に取り組んでいる。
- ・ 回収率を上げるための工夫はあるか。未返送の方への督促を兼ねた礼状を出す方法がある。
その他、語句の意味の確認および修正など。

(2) 「座・でいすかす」実施要領(案)について

事務局より説明

《主な意見》

- ・ 4日間では参加者が得られないのではないか。→最終3日間に変更。
- ・ 土日では週末の休日がなくなり参加者が得られないのではないか。
→日当を支払うため、平日開催も検討したが、仕事等を休んでいただくこととなり、休日開
催とした。
- ・ 市民会議との役割の違いは。
→市民会議は自分たちで課題を出して、課題解決も検討していただき、座・でいすかすでは
市民意識調査から得られる課題について無作為抽出で選ばれた市民の方で参加いただける
方々に課題の解決策を具体的に考えてもらうものである。
- ・ 課題設定の方法は。
→市民意識調査の結果から、重要度の高く、満足度の低いものなどから設定を考えたい。

- ・結果はどこに反映するのか。
 - 総合計画の基本計画の部分であり、市の施策の具体的な部分に反映させる。
- ・議論が深まると実施計画以上の提案となり、難しい。

本日の意見をもとに整理して、次回再度議論いただく。

3. その他

(1) 審議会委員、市民会議委員、職員プロジェクトメンバーについて
事務局より説明

以 上